

平成 28 年度 第 1 回新潟市立西川図書館協議会

日時 平成 28 年 7 月 21 日(木)

午後 3 時～

会場 西川学習館 研修室 B

次 第

- 1 開会
- 2 館長あいさつ
- 3 委員自己紹介
- 4 職員自己紹介

- 5 議事
 - (1) 報告事項
 - ① 平成 27 年度図書館運営報告
 - ② 平成 28 年度図書館事業及び予算について

 - (2) 協議事項
平成 27 年度図書館評価について

- 6 その他

- 7 閉会

配布資料

- 資料1 協議会委員名簿
- 資料2 平成27年度図書館・図書室の蔵書・利用状況
- 資料3 平成27年度事業報告
- 資料4 平成27年度図書館へのたより
- 資料5 平成28年度西蒲区図書館予算一覧
- 資料6 平成28年度事業計画
- 資料7 平成27年度学校図書館支援センターの取組
「2016 こんにちは！ 学校図書館支援センターです」
- 資料8 図書館評価説明資料
平成27年度新潟市立図書館指標別評価シート
平成27年度新潟市立図書館施策・事業評価シート

その他、事業説明用に以下の案内チラシ等を配布

- ・ブックスタート配布資料一式
- ・「本の森めぐり in 西蒲区スタンプラリー」
- ・「新潟市立図書館うちどく読書ノート」
- ・「いっしょがたのしい！ おうちどくしよ in 西川」
- ・「なつやすみ うちどくシート」
- ・「西蒲区図書館だより 第73号・第74号」
- ・「西蒲区のすべての図書館で赤ちゃんタイム実施中！」
- ・「西蒲区輝く子育てフェスティバル」

委員の発言概要

- 岩室図書館の除籍冊数が受入冊数より多く、他の館と比べても多いが、方針によるものか。
- 事業が非常に多い。職員は事業に追われてたいへんなのではないか。
- 事業が多いと感じる。書架の整理や窓口対応をきちんと行えることが図書館の大切な仕事では。
- 「うちどく」は小学校高学年や中学生にとって必要な事業ではない。自分の子どもの頃を考えても、その年代では親と本の話などしたくなかったし、親から言われた本を読む気にもなれなかった。
- 「うちどく」を行うよりも、ブックスタートに続けて「セカンドブック」を行うことの方が、子どもの読書活動推進にとっては大事。
- オンライン化している地区図書室はないのか。オンライン化することはできないのか（中之口地区図書室リニューアルの説明関連）。